



令和3年度  
学校関係者評価委員会報告書

世田谷区立山崎小学校  
学校関係者評価委員会

委員長	廣田	隆之
委員	富永	順子
委員	神田	愛弓
委員	松原	靖代
委員	新	愛穂
委員	ペース	志穂

## 1. 今回の集計結果概要

令和3年12月 アンケート実施

・保護者配布数	355枚	回収	282枚	回収率	79%
・地域配布数	24枚	回収	20枚	回収率	83%
・児童在籍数	117人	実施	114人	回収率	97%

以下アンケート結果分析についてA+B評価が70%を超えている項目は概ね良好とした。

## 2. 保護者各項目の分析について

### 1. 学習指導について

(1) A+B 評価が 85% で良好な結果である。本校では、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業が行われている。(2) A+B 評価が 73% で概ね良好な結果である。昨年度より 5 ポイント改善され、本校では黒板の書き方・プリントを工夫した授業が行われている。(3) A+B 評価が 92% で本校では、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会があり大変良好な結果である。(4) A+B 評価が昨年度より 30 ポイント改善し 81% であり良好な結果である。本校では映像やタブレットを工夫して分かりやすい授業が行われている。

### 2. 生活指導について

(1) A+B 評価が昨年度より 8 ポイント改善し 84% で良好な結果である。(2) A+B 評価が昨年度より 9 ポイント改善し 86% であり良好な結果である。本校の生活指導は高評価である。

### 3. 学校行事（運動会・学芸会・学習発表会・宿泊行事など）について

(1) ～ (3) 全ての項目において A+B 評価が 90% を超えており大変良好な結果である。保護者のほとんどが、子どもたちは学校行事を楽しみにしていると感じ、大変好ましい結果である。

### 4. キャリア教育について

(1) A+B 評価が 81% で良好な結果である。(2) A+B 評価が 62% で低評価である。

以下、文科省ホームページからの抜粋。

今、子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。この視点に立って日々の教育活動を展開することこそが、キャリア教育実践の姿です。学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、子どもたちの発達の段階にふさわしいキャリア教育をそれぞれの学校で推進・充実させましょう。

### 5. 教職員について

(1) (2) とともに A+B 評価が 85% を超えており良好な結果である。本校教職員は丁寧な指導をし、子どものことを相談しやすく、保護者から高評価を受けている。

## 6. 全般について

(1) A+B 評価が 94%で高評価である。子どもが学校生活を楽しいと感じている保護者が多いのは大変好ましい結果である。(2) A+B 評価が昨年度と変わらず 63%で低評価である。子どもが自主的に家庭で学習する習慣付けには課題がある。(3) A+B 評価が昨年度同様 49%で低評価である。学び舎の活動に関しては毎年低評価であり小・中学校の更なる連携を要す。(4) A+B 評価が 84%で本校の教育活動に対する評価は高い。(5) A+B 評価が 80%で昨年度より 3 ポイント改善し良好な結果である。

## 7. 学校からの情報提供について

(1) A+B 評価が 89%で学校だより等による情報発信の評価は高い。(2) A+B 評価 49%で「学び舎」の情報提供は低評価である。「学び舎通信」など広報活動をしているものの「学び舎」活動の認知度は低い。(3) A+B 評価が 86%で良好な結果である。学校公開・保護者会の効果が現れている。(4) A+B 評価が 85%で良好な結果である。ホームページ・メールによる情報発信は良い評価が得られている。

## 8. 学校運営について

(1) A+B 評価が 81%で良好な結果であり、本校は保護者に重点目標を伝えている。(2) A+B 評価が昨年度より 7 ポイント改善し 92%で大変良好な結果である。校長のリーダーシップのもと継続した良好な学校運営を望む。

## 9. 家庭と学校との連携について

(1) A+B 評価が 82%で良好な結果である。本校保護者はすすんで学校公開に参加している。(2) A+B 評価が 65%で低評価であるがコロナ禍で行事に積極的に参加するのは困難である。(3) A+B 評価が 53%で低評価である。前項 8 の (1) で本校は保護者に学校の重点目標を伝えているが、半数の保護者は学校の重点目標を理解していない。学校だより 4 月号に掲載されているので一読していただきたい。

## 10. 地域との連携について

(1) A+B 評価が 67% (2) A+B 評価が 64% (3) A+B 評価が 62%で 3 項目とも低評価である。しかしながら、例年は地域との連携についての評価は良好で昨年度同様新型コロナウイルス感染拡大防止対策等の影響があったと考察する。

## 11. 学校の安全性について

(1) A+B 評価が 85% (2) A+B 評価が 96% (3) A+B 評価が 84%であり良好な結果である。引き続き児童向けの安全指導・避難訓練、保護者向けの自然災害時対応の通知文等、継続して取り組むことを望む。

## 12. 基本的な生活習慣・健康な体について (学校独自項目)

(1) A+B 評価が 79% (2) A+B 評価が 81% で良好な結果である。子どもたちは自分からあいさつができ、話をしている人を見て話が聞けている。(3) A+B 評価が 82% で睡眠をしっかりとって良好な結果である。(4) A+B 評価が 68% で食べ物の好き嫌いは低評価である。(5) A+B 評価が 67% で低評価であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等の中で外遊びは難しいと考察する。

### 13. 特色ある教育活動について (学校独自項目)

(1) A+B 評価が 74% で概ね良好な結果ある。昨年度に引き続き舟形交流学習はオンライン開催となり残念であった。(2) A+B 評価が 93% で紙すき体験は大変良好な結果である。(3) A+B 評価が 86% 良好な結果である。「山崎太鼓」は子どもの成長において貴重な体験・経験であり保護者の評価も高い。

### 14. 言葉に関する環境について (学校独自項目)

(1) A+B 評価が 77% で概ね良好な結果である。子どもたちは学校・家庭で読書に親しんでいる。(2) A+B 評価が 85% で昨年度より 6 ポイント改善し良好な結果である。子どもたちは自分の思いや考えを口頭・文章で伝えている。

## 3. 地域各項目の分析

### 1. 生活指導について

(1) A+B 評価が昨年度より 10 ポイント改善し 94% で大変良好な結果である。地域での生活指導の評価は高い。

### 2. 学校行事 (運動会・学芸会・学習発表会・宿泊行事など) について

(1) A+B 評価が 80% (2) A+B 評価が 95% で良好な結果である。行事の内容、地域への配慮、学校への協力等、理解が得られている。

### 3. 学校からの情報提供について

(1) A+B 評価が 95% で大変良好な結果である。学校だより等で学校の様子が周知されている。(2) A+B 評価が昨年度より 17 ポイント改善し 80% で良好な結果である。「学び舎」の活動が周知されてきている。(3) A+B 評価が 65% で低評価である。昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等により学校公開等に参加ができなかったためと考察する。(4) A+B 評価が 84% 良好な結果である。学校のホームページには学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。

### 4. 学校運営について

(1) A+B 評価が 90% で高評価であり、学校の重点目標は明確である。(2) A+B が 84% で昨年度より 6 ポイント改善されており良好な結果である。地域の意見に対して学校はていねいに説明・対応している。

## 5. 地域との連携について

(1) A+B 評価が 80% で良好な結果である。地域の人材や施設を教育活動に生かし、地域とも連携が図れている。(2) A+B 評価が 45% で低評価である。「学校協議会」「合同学校協議会」は新型コロナウイルス感染拡大防止対策等により開催できず、その役割を十分に示せなかった。(3) A+B 評価が 45% で低評価である。「学校運営委員会」の役割・活動内容について周知が不十分であり、更なる情報発信を望む。

## 5. 学校の安全性について

(1) (2) とともに A+B 評価が 90% を超えており大変良好な結果である。引き続き地域と協力し学校の安全性を高めることを望む。

## 4. 児童各項目の分析

### 1. 学習について

(1) ~ (4) 全ての項目において A+B 評価が 90% を超えており大変良好な結果である。教員は課題(めあて)について、子どもたちが自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業中に取り、黒板の書き方やプリントを工夫し、授業中、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会を設け、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。

### 2. 生活指導について

(1) A+B 評価が 87% で良好な結果である。ほとんどの子どもたちは学校のきまりを守って行動している。(2) A+B 評価が 83% (3) A+B 評価が 91% で教員の生活指導に対する子どもからの評価は高い。引き続き地域運営学校の特色を生かし、学校・保護者・地域で連携し子どもたちがルールを守って行動できるよう指導することを望む。

### 3. 学校行事(運動会・学芸会・学習発表会・宿泊行事など)について

(1) A+B 評価が 97% (2) A+B 評価が 92% で大変良好な結果である。子どもたちのほとんどが学校行事を楽しんでいると感じ、また達成感を得ているのは大変好ましい結果である。(3) A+B 評価が 85% で良好な結果である。引き続き教員の工夫した指導で子どもたちのやる気を大切にすることや、子どもたちに達成感を持たせることを望む。

### 4. キャリア教育について

(1) A+B 評価が 68% で良好な結果とは言えない。教員の工夫により、子どもたちの生き方や将来のことについて、考える授業を増やすことを望む。(2) A+B 評価が 78% であり概ね良好な結果である。子どもたちは、目標をもち、その実現に向けて努力をしている。(3) A+B 評価が 50% で昨年度より 4 ポイント改善したものの低評価である。普段の授業の中で区立中学校に関する情報発信を要す。

## 5. 先生について

(1) A+B 評価が 95% (2) A+B 評価が 81% で良好な結果である。子どもたちと教員に信頼関係があり大変好ましい結果である。引き続き子どもたちをていねいに指導し信頼関係を築き、子どもたちが教員に相談しやすい環境を作ることを望む。

## 6. 全般について

(1) A+B 評価が 94% (2) A+B 評価が 88% で良好な結果である。子どもたちのほとんどが学校生活は楽しいと感じ、学校が好きと回答しており好ましい結果である。(3) A+B 評価が 69% で良好な結果とは言えず家庭での宿題や e-ラーニングでの学習には課題がある。(4) A+B 評価 67% であるが全ての子どもたちが塾に通っているわけではないので一概に低評価とは言えない。(5) A+B 評価が 29% で低評価であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により「学び舎」の中学校との交流活動が制限されたためと考察する。

## 5. 総評

今年度の学校評価報告書は昨年度同様、来賓による行事参加が自粛され、評価委員会もほぼ書面開催での作成となった。

今年度のアンケート調査は、保護者・地域・児童とも概ね良好な結果である。保護者項目 A+B 評価が 70% 未満は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等に関連したもの、「学び舎」に関するものがほとんどである。学習指導・生活指導等、教員に対する評価は総じて良好である。学校行事・情報提供・学校の安全性についても高評価である。

地域評価 14 項目中 A+B 評価が 70% 未満は 3 項目である。そのうち新型コロナウイルス感染拡大防止対策等により低評価となったものが 1 項目、「学び舎」「学校協議会」「合同学校協議会」「学校運営委員会」に関するものが 1 項目であり各項目評価のとおりである。

児童評価 20 項目中 A+B 評価が 70% 未満は、中学校に関する 2 項目、学外教育に関する 2 項目、キャリア教育に関する 1 項目である。子どもたちの教員に対する評価が良好であることが信頼関係を築けている証である。

本校は保護者の理解もあり、地域からの信頼も厚い。引き続き授業、学校行事等、子どもたちが楽しい学校生活を送り充実した日々が過ごせるよう学校運営をすることを望む。

令和 3 年度学校だより 4 月号を見たときに、スケジュールが埋まっていた安心した方も多かったことだろう。昨年度の 4 月のスケジュールは白紙であった。今年度のある日、小池校長が「今、何ができなくなってしまったのではなく、今、何ができるのか？今だから何ができるのか？教職員一同で知恵を絞って子どもたちが楽しめること思い出に残ることを模索する日々です」と語っていた。昨年度同様、このような状況下、試行錯誤を重ね児童・保護者のために努力し学校運営の舵取りをした小池校長をはじめ本校全ての教職員に感謝したい。

## 6. 参考

### 1. 地域運営学校

世田谷区立全小中学校が指定されている。学校と地域の連携をより一層充実させ、地域と共に子どもを育てる教育を推進し、地域防災や地域行事など、学校・家庭・地域の連携・協働による取組みを一層充実するなど、地域コミュニティの核としての学校づくりをすることを目的としている。

### 2. 学校運営委員会

地域運営学校では、地域の方や保護者、学識経験者、卒業生からなる学校運営委員会を組織し、地域に根ざした学校づくりをねらいとした学校運営をすることを目的としている。

### 3. 世田谷杜の学び舎

世田谷 9 年教育の柱のひとつで近隣の世田谷区立小中学校で「学び舎」を構成し、より一体となって地域の教育力と特色を活かして教育活動や学校運営を進めることを目的としている。本校は世田谷中学校・城山小学校・若林小学校で「世田谷杜の学び舎」を構成している。

### 4. 学校協議会

学校と家庭・地域並びに関係諸機関と連携と協力を一層強化することを目的として、学校協議会を設置し、地域の協力を得ながら児童・生徒の健全育成、地域防災・防犯、教育活動の充実に取り組んでいる。学校長・副校長・主幹教諭・主任教諭・PTA 会長・PTA 役員・主任児童委員・民生委員・児童委員・青少年委員・保護司・町会長・自治会長等で構成されている。

### 5. 合同学校協議会

学び舎単位の学校協議会

### 6. キャリア教育

我が国において「キャリア教育」という文言が公的に登場し、その必要性が提唱されたのは、平成 11 年 12 月、中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」においてであった。同審議会は「キャリア教育を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要がある」とし、さらに「キャリア教育の実施に当たっては家庭・地域と連携し、体験的な学習を重視するとともに、各学校ごとに目的を設定し、教育課程に位置付けて計画的に行う必要がある」と提言している。この答申を受け、キャリア教育に関する調査研究が進められ、平成 14 年 11 月には、国立教育政策研究所生徒指導研究センターが「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」を報告した。同調査研究報告書は、子どもたちの進路・発達をめぐる環境の変化について、数々のデータを基に分析し、「職業観・勤労観の育成が不可欠な『時代』を迎えた」とし、さらに、学校段階における職業的（進路）発達課題について解説するとともに、「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）」を示した。一方、学校における教育活動が、

ともすれば「生きること」や「働くこと」と疎遠になったり、十分な取組が行われてこなかったりしたのではないかとの指摘も踏まえ、同年、文部科学省内に「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議」を設置し、平成16年1月には、その報告書「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために」を発表した。この間、国は、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、経済財政政策担当大臣の関係4閣僚による「若者自立・挑戦戦略会議」が、平成15年6月に「若者自立・挑戦プラン」を策定し、目指すべき社会として、「若者が自らの可能性を高め、挑戦し、活躍できる夢のある社会」と「生涯にわたり、自立的な能力向上・発揮ができ、やり直しがきく社会」をあげ、政府、地方自治体、教育界、産業界が一体となった取組が必要であるとした。キャリア教育の推進は、その重要な柱として位置付けられた。その後平成18年には、内閣官房長官、農林水産大臣、少子化・男女共同参画担当大臣も加え、「若者の自立・挑戦のためのアクションプラン（改訂）」が策定され、キャリア教育のさらなる充実を図ることとした。